

National Institute for Learning Outcomes Assessment

Making Learning Outcomes Usable & Transparent

1

米国における 学生の学習成果アセスメント： 動向とグッド・プラクティス

STACI PROVEZIS, PH.D.

NIAD-UE UNIVERSITY EVALUATION FORUM 2012

JULY 23, 2012





全米学習成果アセスメント研究所 (NILOA)の概要

NILOAの使命は、学生の学習成果アセスメントにかかる取組みを文書化し、ベスト・プラクティスを特定・発信し、教育機関のアセスメントの取組みを支援することである。

- 調査●ウェブ・スキャン●事例研究●フォーカス・グループ●研究報告書
- ウェブサイト●リソース●ニュースレター●リストサーブ●発表●透明性枠組み
- 特集ウェブサイト●適格認定のリソース●アセスメント・イベント・カレンダー
- アセスメント・ニュース●質測定目録●方針の分析●環境スキャン



National Institute for Learning Outcomes Assessment

Making Learning Outcomes Usable & Transparent

[About Us](#)[Tools](#)[NILOA Resources](#)[Assessment Resources](#)[Event Calendar](#)[Accreditation](#)[FULL NAVIGATION >>](#)

Welcome to NILOA

New to the website? For a general overview, [click here](#).

- « Occasional Paper 13
- « [Webscan Report](#)
- « Occasional Paper 12
- « Occasional Paper 11
- « [Briefs](#)

January 2012 NILOA's 13th Occasional Paper, "From Denial to Acceptance: The Stages of Assessment" by Margaret A. Miller is now available.



Featured pages

National Survey Results 2011
Transparency Framework
National Survey Results 2009
Occasional Papers
College & University
Associations
College & University Programs

FEATURED

National Institute for Learning Outcomes Assessment

WEBSITE

Oregon State University

Oregon State University's Office of Academic Programs, Assessment, and Accreditation (APAA) website is NILOA's Featured Website for its communication.

[In the News](#) | [Archive](#) | [RSS](#) 

[Join Our Email List](#)

[Assessing Online Learning: Strategies, Challenges and Opportunities](#)

Fri, Mar 16, 2012 - 08:00 am

Faculty Focus

A special report in Faculty Focus on assessing online learning.

[Doubling Down on Degrees](#)

Fri, Mar 16, 2012 - 08:00 am

Mitch Smith in Inside Higher Ed

As part of Indiana's performance based funding plan through the Indiana Higher Education Commission, Indiana's public colleges and universities are tasked with finding and using assessments to appropriately track their students learning.

[Learning Centers Had Little Impact](#)

Fri, Mar 16, 2012 - 08:00 am

Jack Grove for Times Higher Education

This brief article discusses the successes and failures of the Centres for Excellence in Teaching and Learning (CETLs) initiative which ran from 2005 to 2010 and was financed by the Higher Education Funding Council for England.



先行オーガナイザー

- 学生の学習成果アセスメントとは何か？
- 米国における適格認定（アクレディテーション）とは何か？
- 米国のカレッジおよび大学の学生の学習成果アセスメントの全国的な全体像とはどのようなものか？
- 学生の学習成果アセスメントのベスト・プラクティスの例にはどのようなものが含まれるか？



定義

5

アセスメントする(Assess、動詞): 注意深く調べる

アセスメントとは、学生の学習の改善および向上を目的として行われる教育プログラムに関する情報を、系統的に収集、検討および利用することである (Palomba & Banta、1999年、4頁)。



学生が学習していることをどのように把握するか？

6

- 重要な問いかけは...

- 我々がやろうとしていることは？ その理由は？
または
- 自己のプログラムで実現が期待されることは何か？
- その達成状況は？
- その把握方法は？
- 改善または成功の確認のための情報の利用法は？
- 我々の行う改善は機能しているか？

Bresciani (2003年)

教育目標をどの程度達成しているか？



Source: AAHE/NCA Higher Education Learning Commission

Assessment Loop

出典: 米国高等教育協会 (AAHE)/北中部大学学校協会 (NCA) 高等教育学習委員会

アセスメント・ループ



アセスメント・ツール

8

- **直接的な (アウトカム) 測定**
 - 学生が学習した内容またはできるようになった内容に関する根拠
- **間接的な (プロセス) 測定**
 - 学生および教育機関による効果的な教育活動に関する根拠



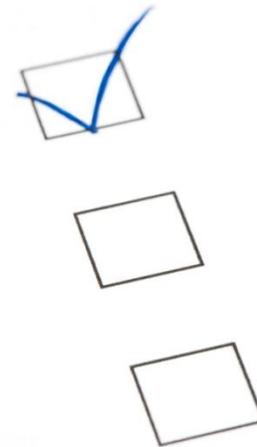
直接的なアセスメント方法

- 試験
 - 国家検定試験の成績
 - 共通試験
 - 地域で実施される試験
 - 予備試験および事後試験
 - ユニット全体で実施されるブラインド採点方式によるエッセイ試験
- 学生の学習成果/プロジェクト
 - 学生の学習成果のとりまとめ(例:ポートフォリオ)
 - 卒業プロジェクト
 - 学生行動の観察
 - 学生プロジェクトに関する内部レビュー
 - プロジェクトに組み込まれたアセスメント
 - コースに組み込まれたアセスメント
- 学生の外部レビュー
 - 学生の成績に関する外部評価
 - 学生の課題に関する外部委員によるレビュー
 - インターンシップに関する外部レビュー

間接的なアセスメント方法

10

- 卒業生、雇用主、学生に関する調査/研究
 - 全国のまたは地域の調査
 - フォーカス・グループ（面接の仕方によっては直接的な証拠として用いることもできる）
 - 卒業生を対象とした卒業時面接
 - 卒業生フォローアップ調査
- 学生の成功指標
 - 大学院へ進学する学生の割合
 - 学生保持率および転籍に関する調査
 - 就職に関する統計
 - 教員/学生の割合
 - 留学する学生の割合
 - 入学者数の動向
 - 5-6年以内で卒業する学生の割合
 - 学生自治会の多様性



コンテキストの設定

- 学生の学習に対する関心の高まり
- 政策および報告書
- 適格認定（アクレディテーション）

米国における適格認定(アクレディテーション)

12

- 米国政府の役割
 - 質を監督する部局が教育省に存在しない
 - 連邦政府の助成金を得るためには適格認定が必要
- 適格認定の特徴
 - 一連の標準/基準
 - 質保証(アカウントビリティ)/機関・組織の改善
 - ピア・レビュー/自己規律
- 適格認定のプロセス
 - 自己調査
 - 現地調査
 - 報告書

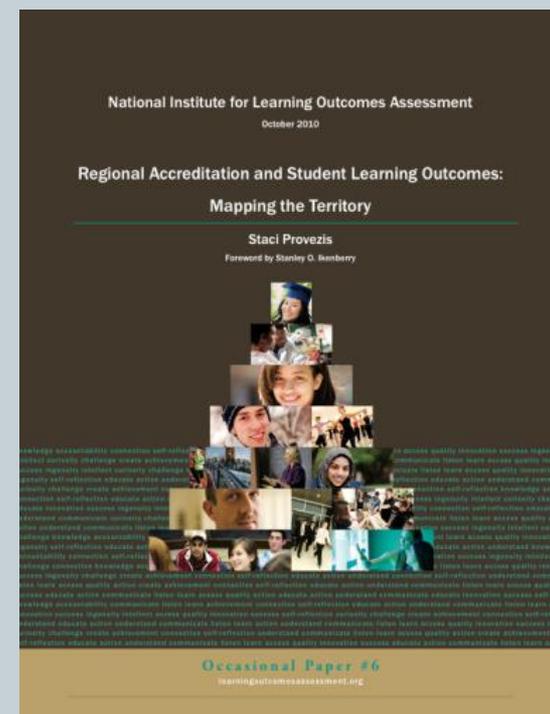


研究報告6

地域の適格認定および学生の 学習成果アセスメント：地域調査

Staci Provezis

この報告書は、学生の学習成果アセスメントに関し、7のアクレディテーション団体のそれぞれの方針および手続きについて検討したものである。

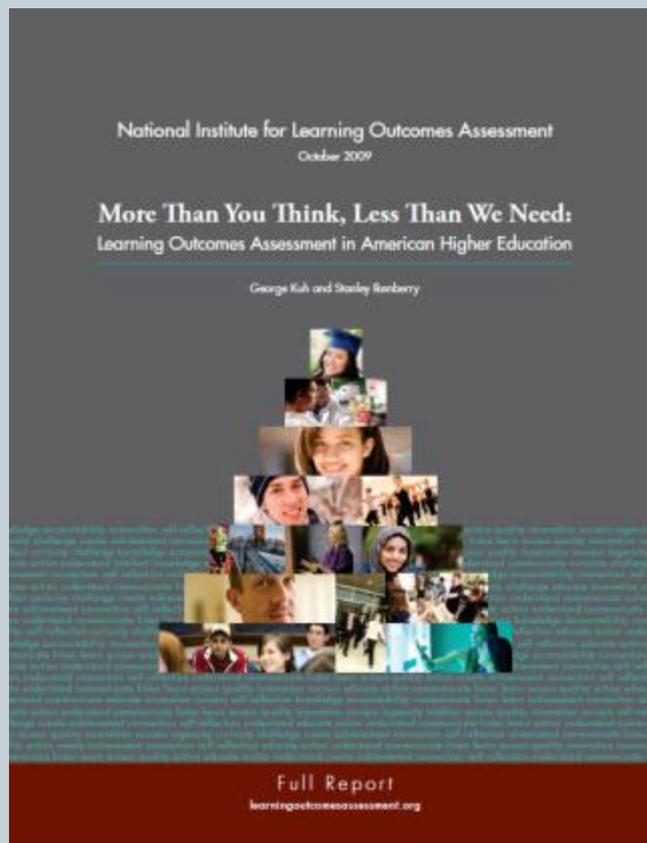


カレッジおよび大学の学生の学習成果アセスメントの全国的な傾向とは何か？

- 調査報告
- フォーカス・グループ
- 適格認定に関する調査
- ウェブ・スキャン調査
- 研究報告
- 事例研究



調査報告



- 適格認定を受けたすべての2年 & 4年制カレッジおよび大学の教務責任者を対象にアセスメントの実務について調査
- 調査報告「あなたが想像する以上、私たちが必要とするもの未満」(*More Than You Think, Less Than We Need*)は2009年10月に出版された



調査における設問

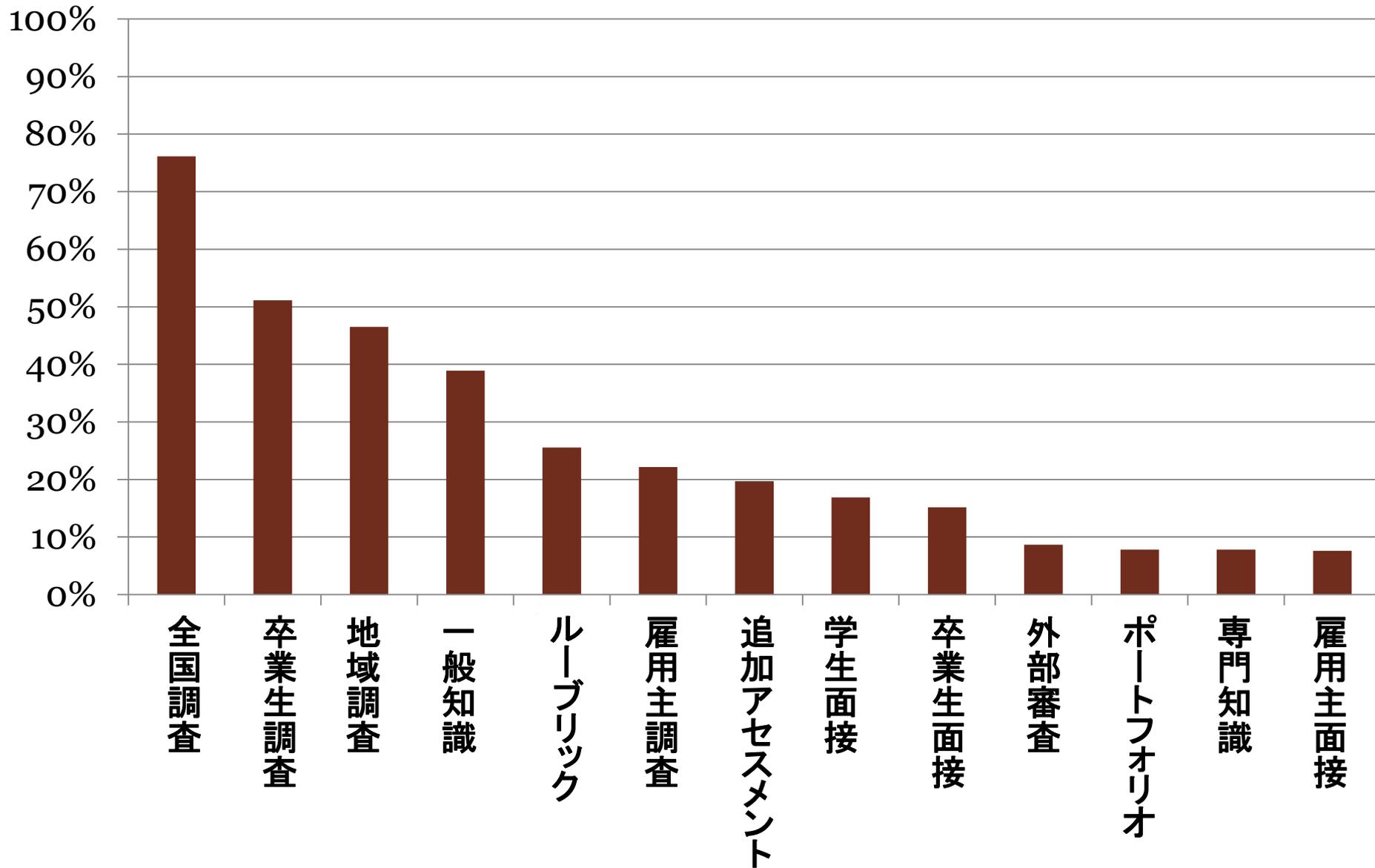
1. 貴教育機関でアセスメントの対象としている学習成果とは何か？
2. 貴教育機関では学習成果をどのようにアセスメントし、その結果をどのように利用しているか？
3. 貴教育機関でアセスメントを推進している主要因は何か？
4. 貴教育機関において学習成果のアセスメントを一層進めるために必要となるものは何か？

報告書の概要

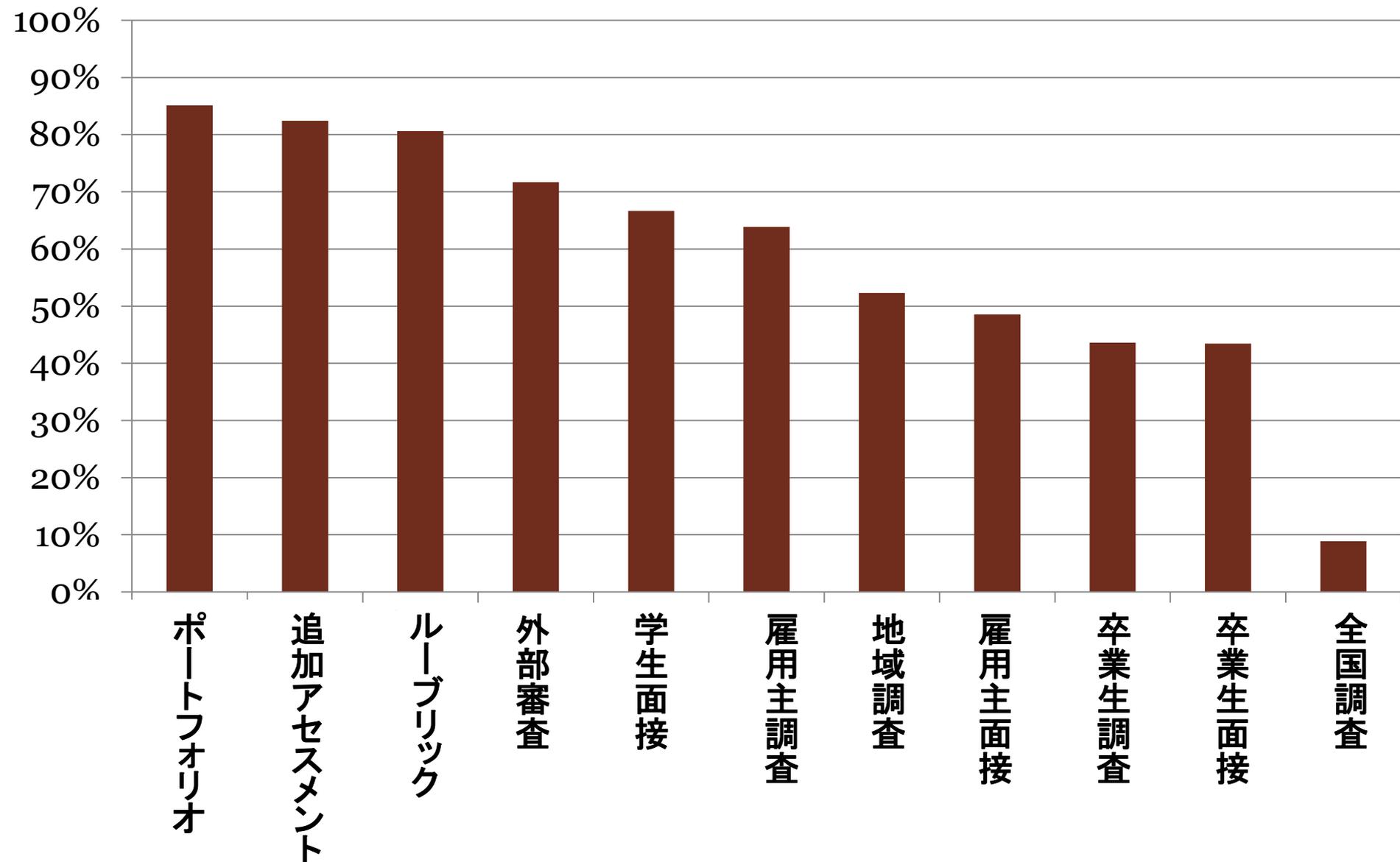
1. おそらく私たちが認識しているか、または想像するよりも多くのアセスメントが行われている



教育機関における機関レベルの学習成果アセスメント



教育機関におけるプログラム・レベルの学習成果アセスメント



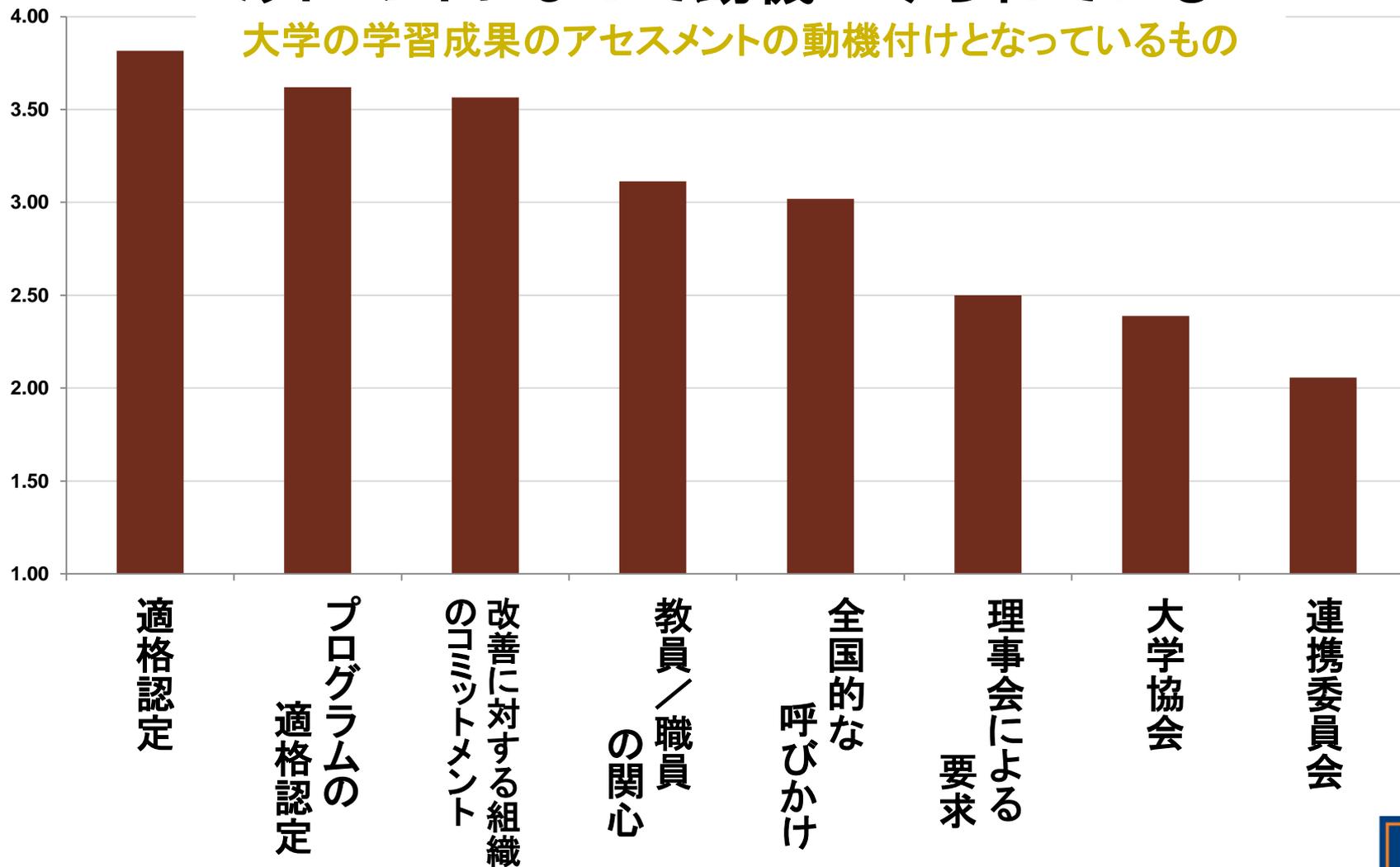
報告書の概要

1. おそらく私たちが認識しているか、または想像するよりも多くのアセスメントが行われている
2. アセスメントの結果を利用・報告することに、より注目する必要がある



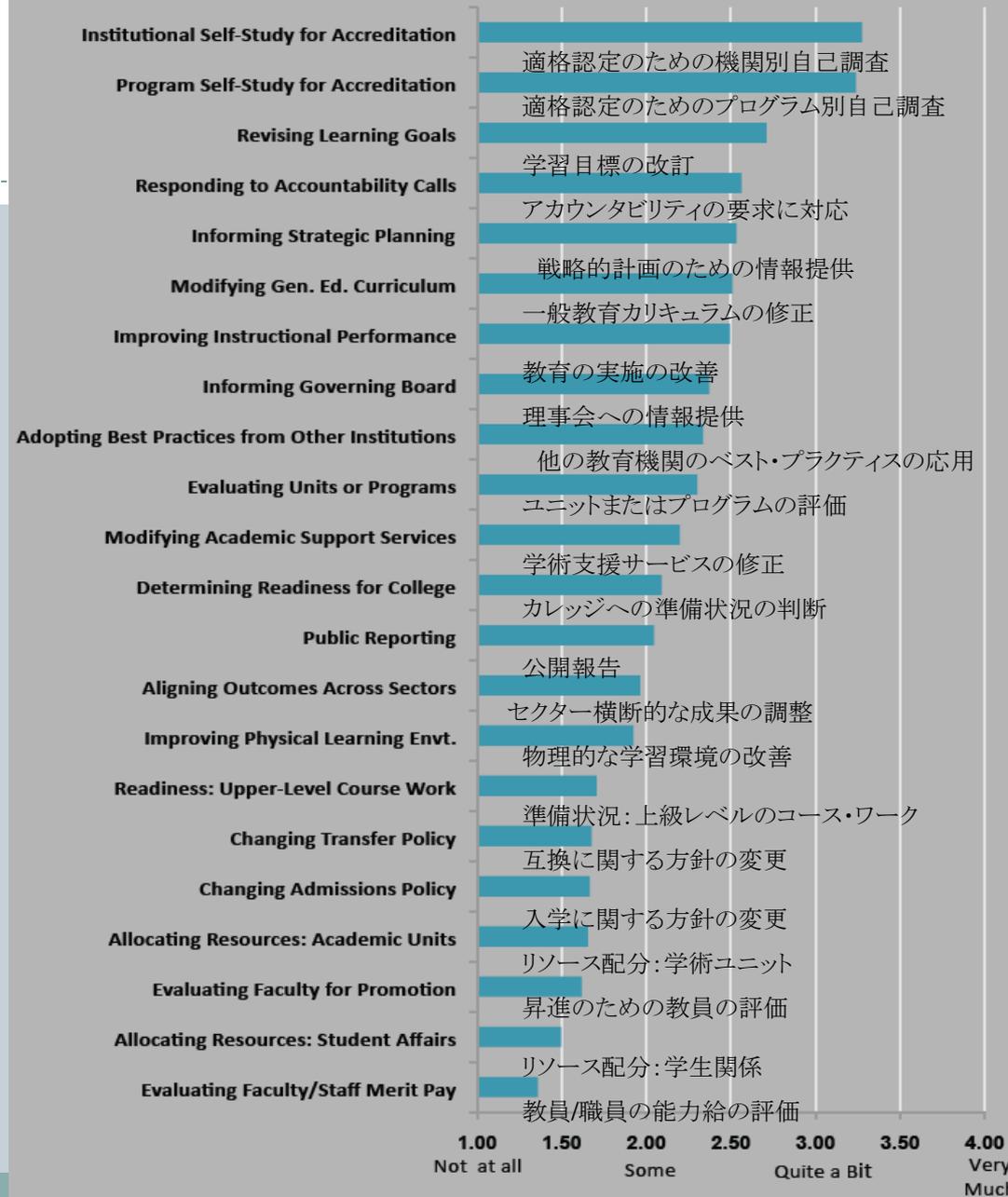
アセスメントは、政府や雇用主からの外部圧力以上に 適格認定(アクレディテーション)や大学自身の改善への コミットメントによって動機づけられている

大学の学習成果のアセスメントの動機付けとなっているもの



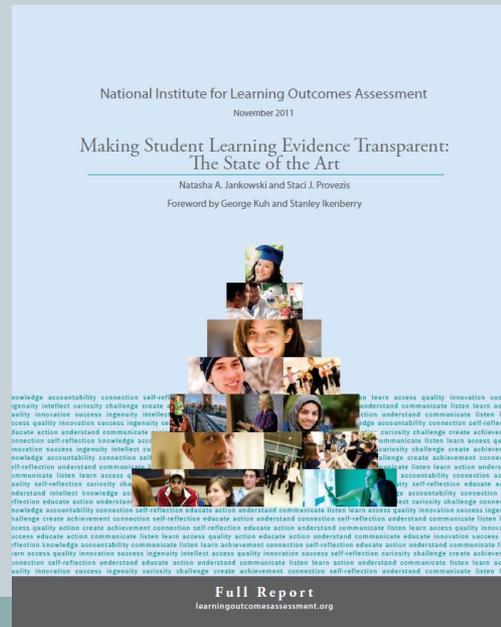
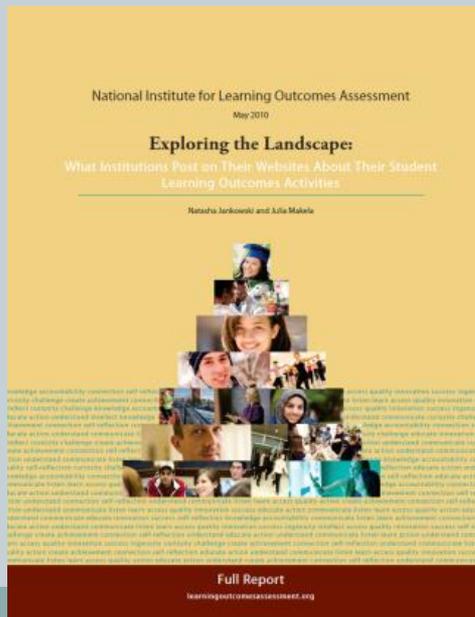
適格認定がアセ スメント・データ の利用の上位を 占める

すべての学校におけるアセスメント・データの利用

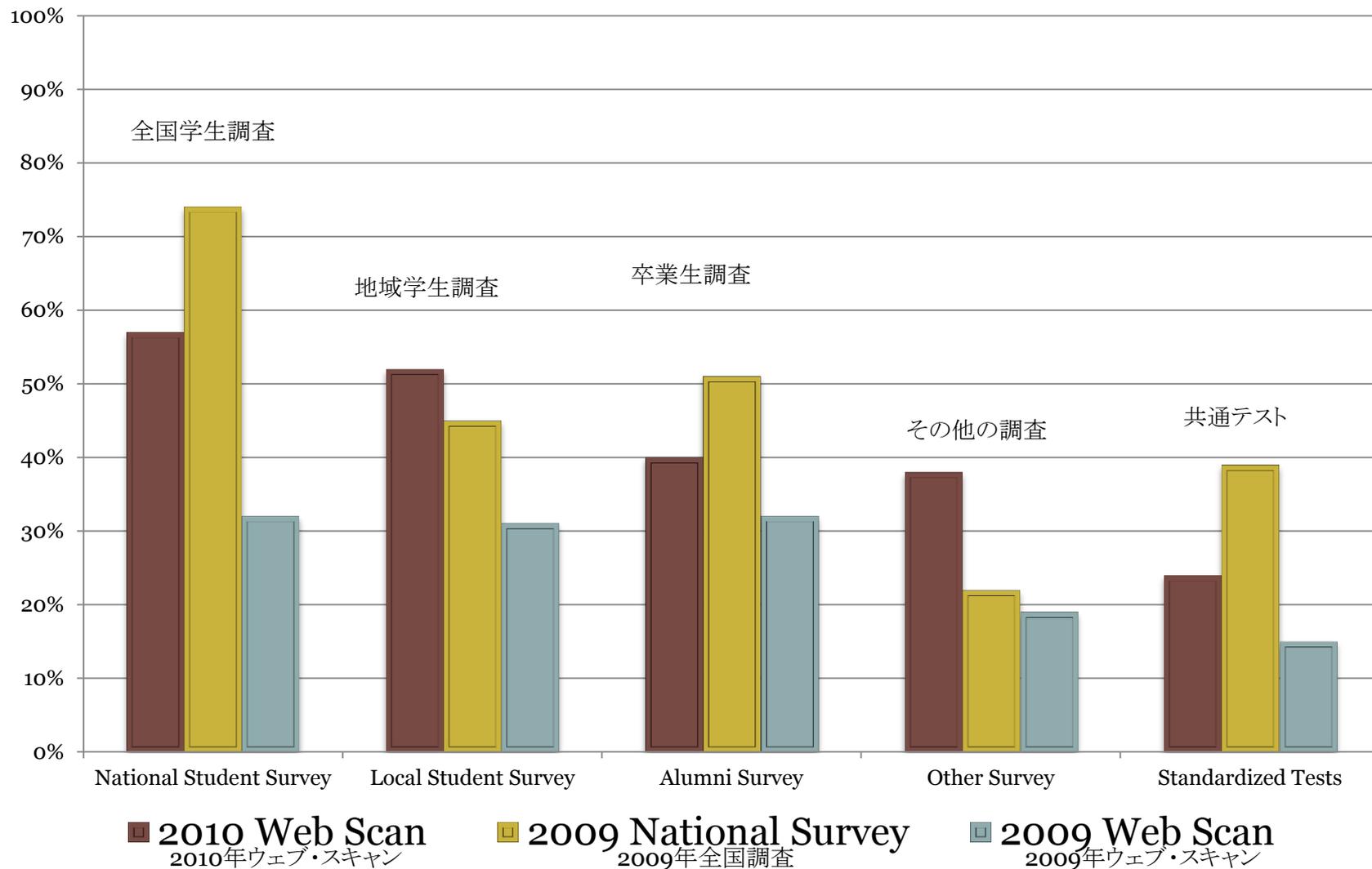


機関別ウェブ・スキャンの目的

教育機関が学習成果として何をウェブサイトに掲載し、またウェブ上のどこにそれを掲載しているのかを把握すること



ウェブ調査を取り入れた各種調査の比較





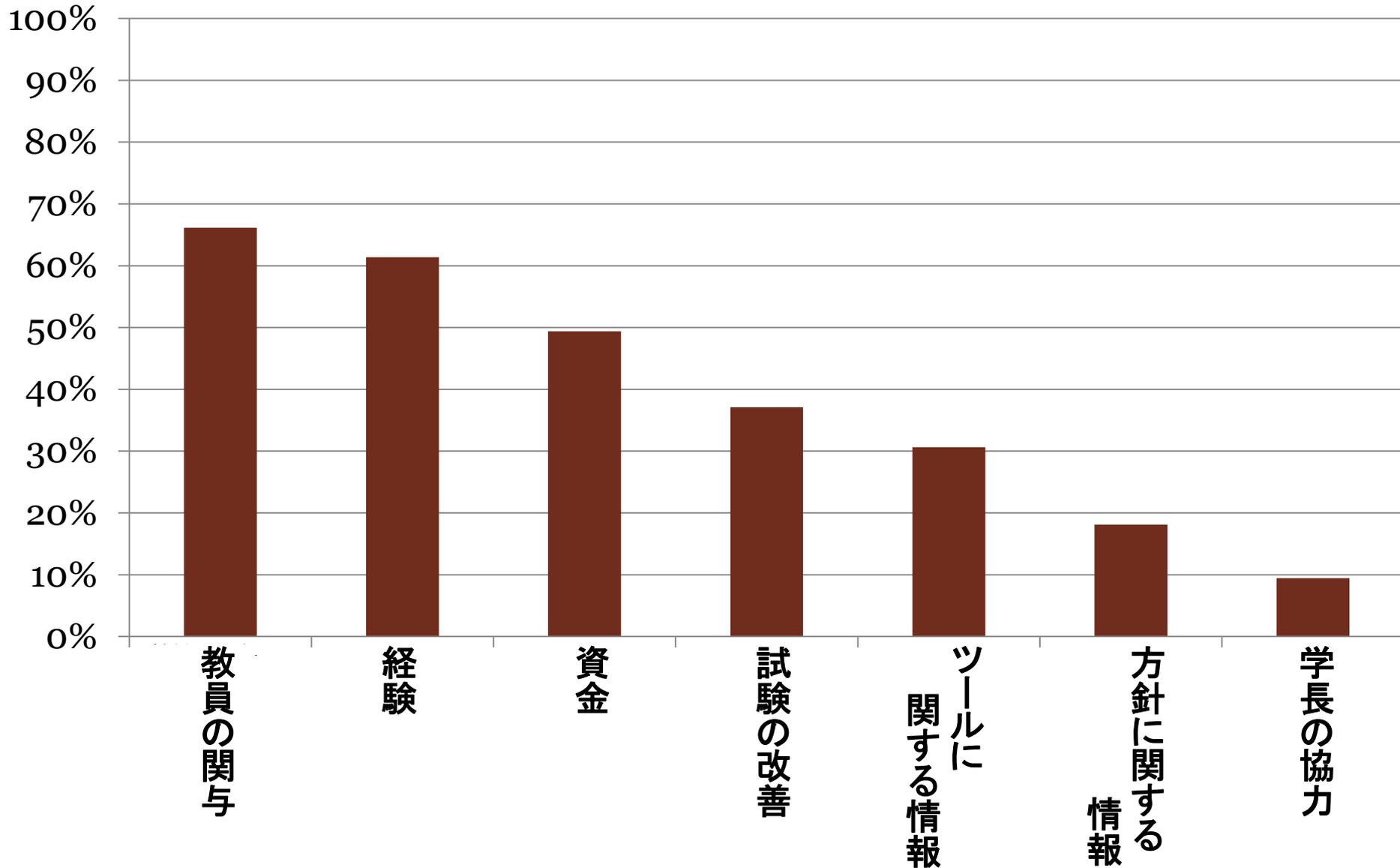
ウェブサイト分析から得られた主な調査結果

- 実際には、掲載されているよりも多くの学習成果のアセスメントが行われている
- アセスメントに関する情報は、通常、内部関係者専用ページ上で確認できる
- 適格認定、組織的統制および全国的なイニシアティブへの参加がウェブサイト上での学習成果のアセスメント情報発信に影響を与えると考えられる
- 教育機関は予想以上に高い頻度で学習成果のアセスメント結果を公表しているのだが、その記事がウェブ上のどこにあるのかわかりにくい

透明性枠組み



学習成果アセスメントを改善するために 大学に求められるもの



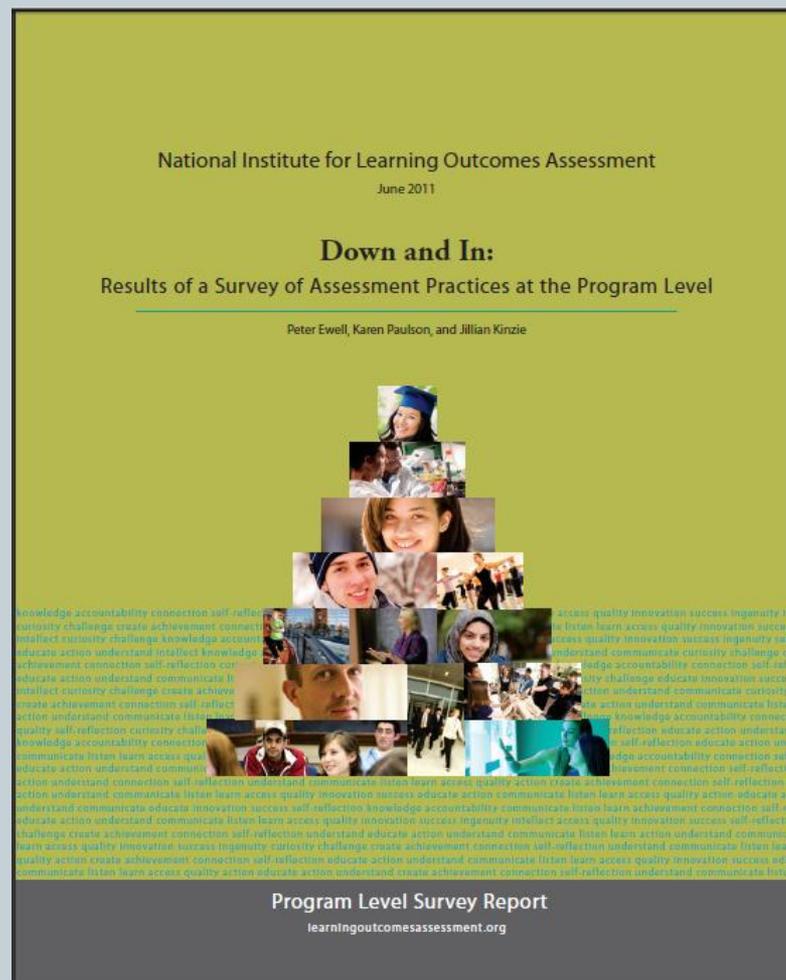
報告書の概要

1. おそらく私たちが認識しているか、または想像するよりも多くのアセスメントが行われている
2. アセスメントの結果を利用・報告することに、より一層の注力が必要である
3. 教員の参加・協力を得ることが大きな課題である
4. データから改善へつなげるためには、より一層の投資が必要と思われる



❖ 2010年プログラム・レベル調査の特徴

- ✓ 2段階による実施
- ✓ 982プログラム
(調査対象プログラムの30%)から有効な回答を取得



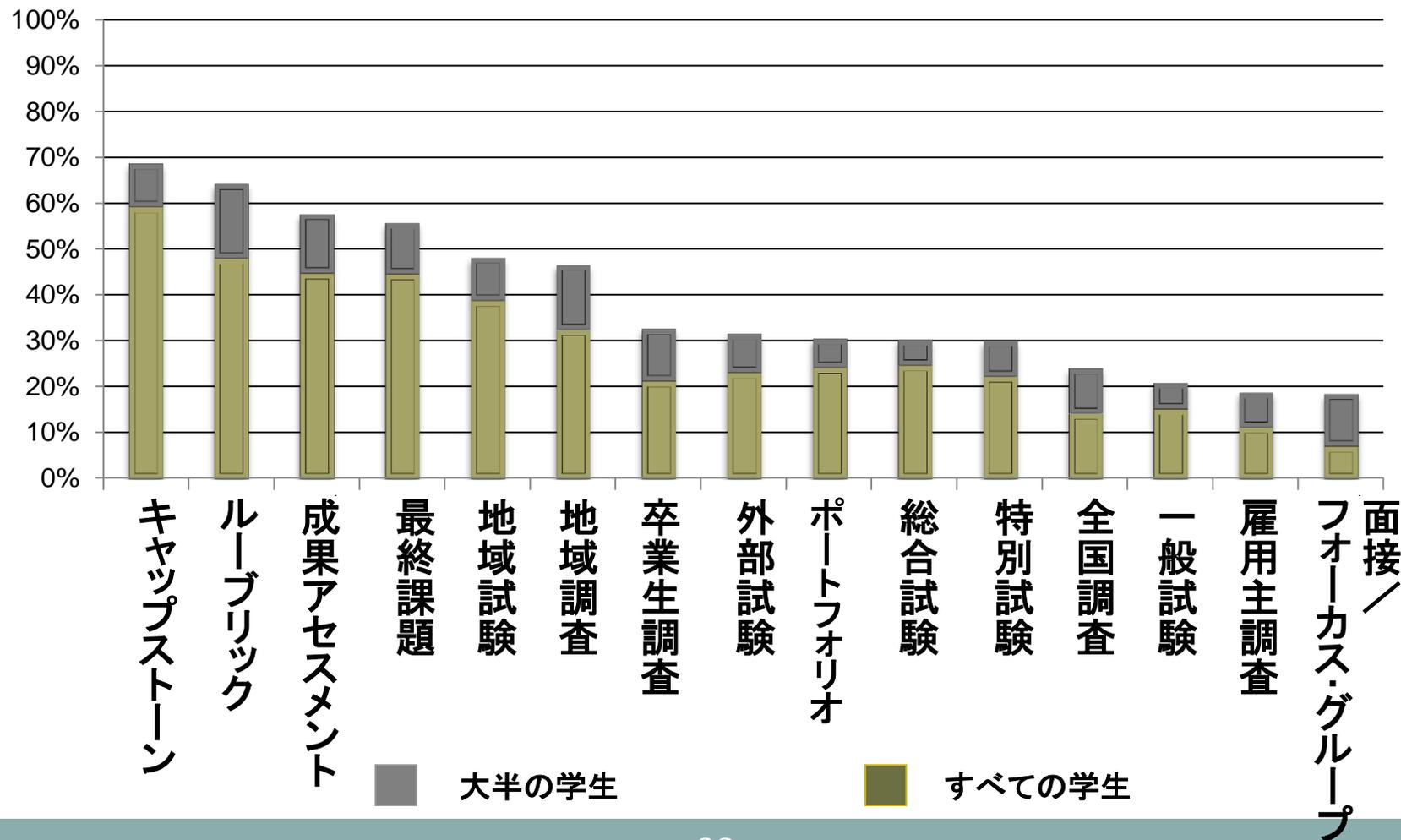
専門分野別適格認定の重要性

- 適格認定(アクレディテーション)を受けたプログラムで関係者は、専門分野別適格認定について非常に重要である、または重要であると述べる傾向が強かった
- プログラムの適格認定における「ハロー効果」

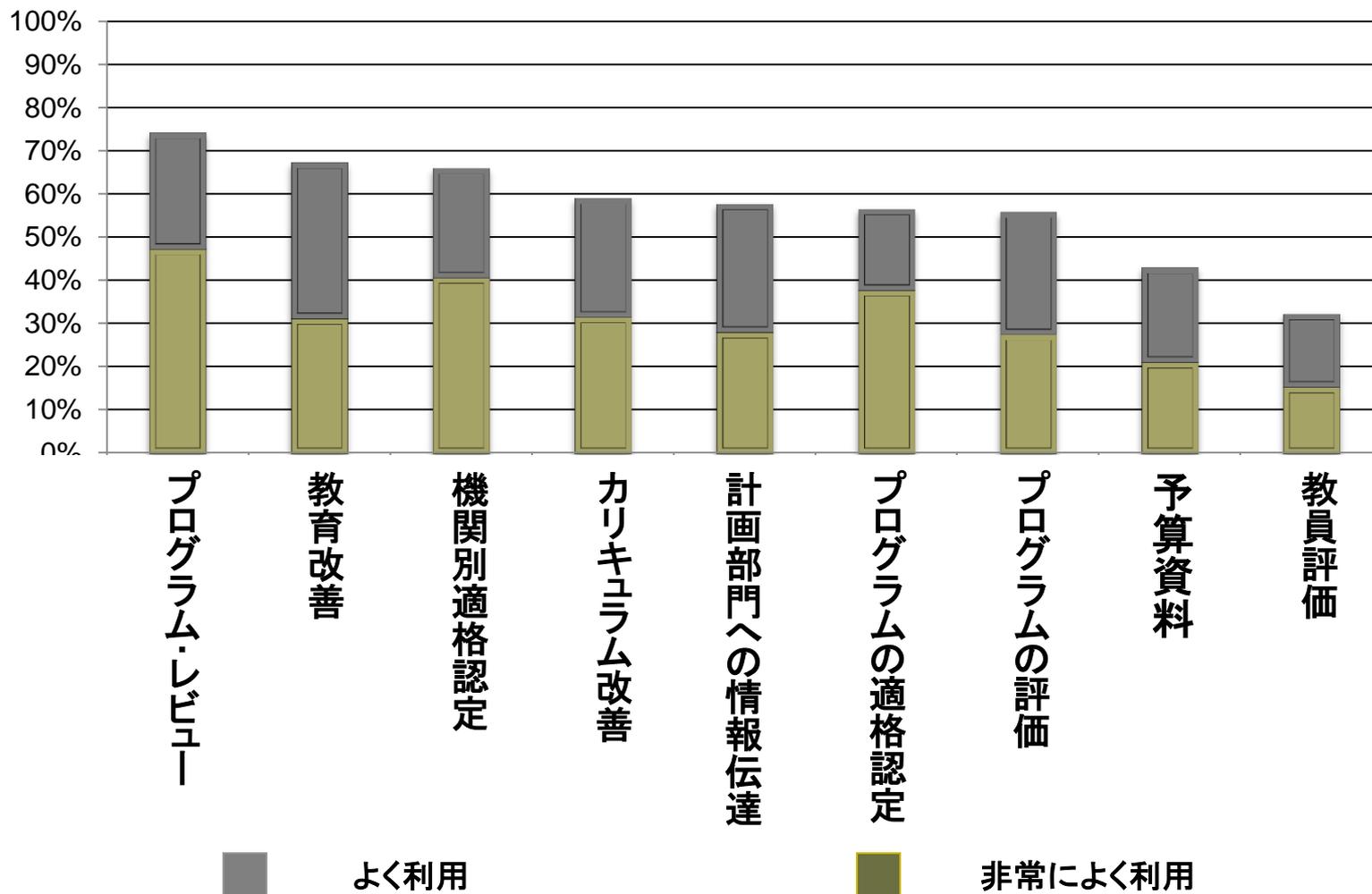
プログラムの学習成果

- 10のプログラムのうち8を超えるプログラムが、学習成果に関する目標を設定し、内部で合意している
- *圧倒的多数のプログラムにおいて、学習成果目標を設定*

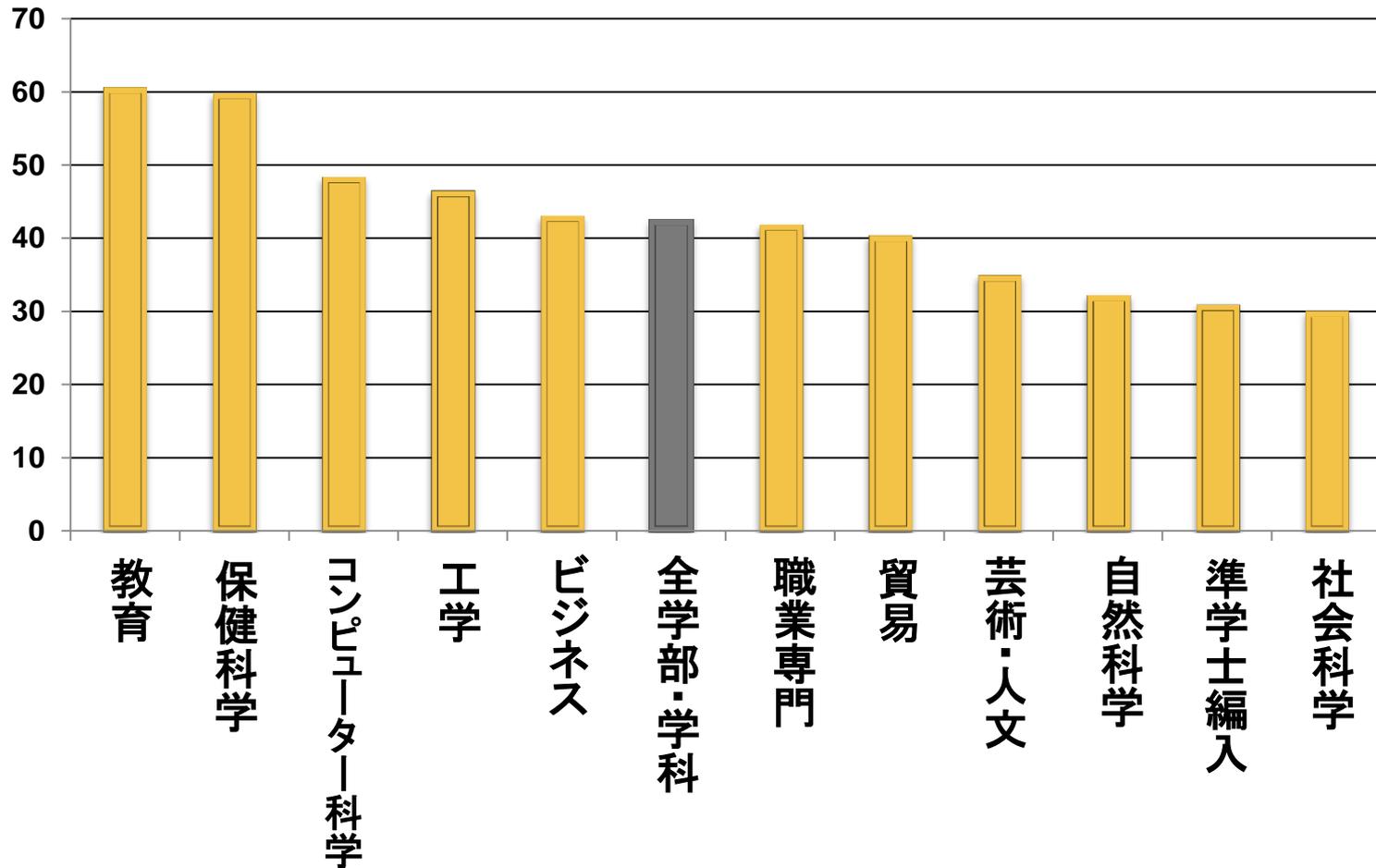
用いられるアセスメントの方法



学習成果のアセスメント結果の利用



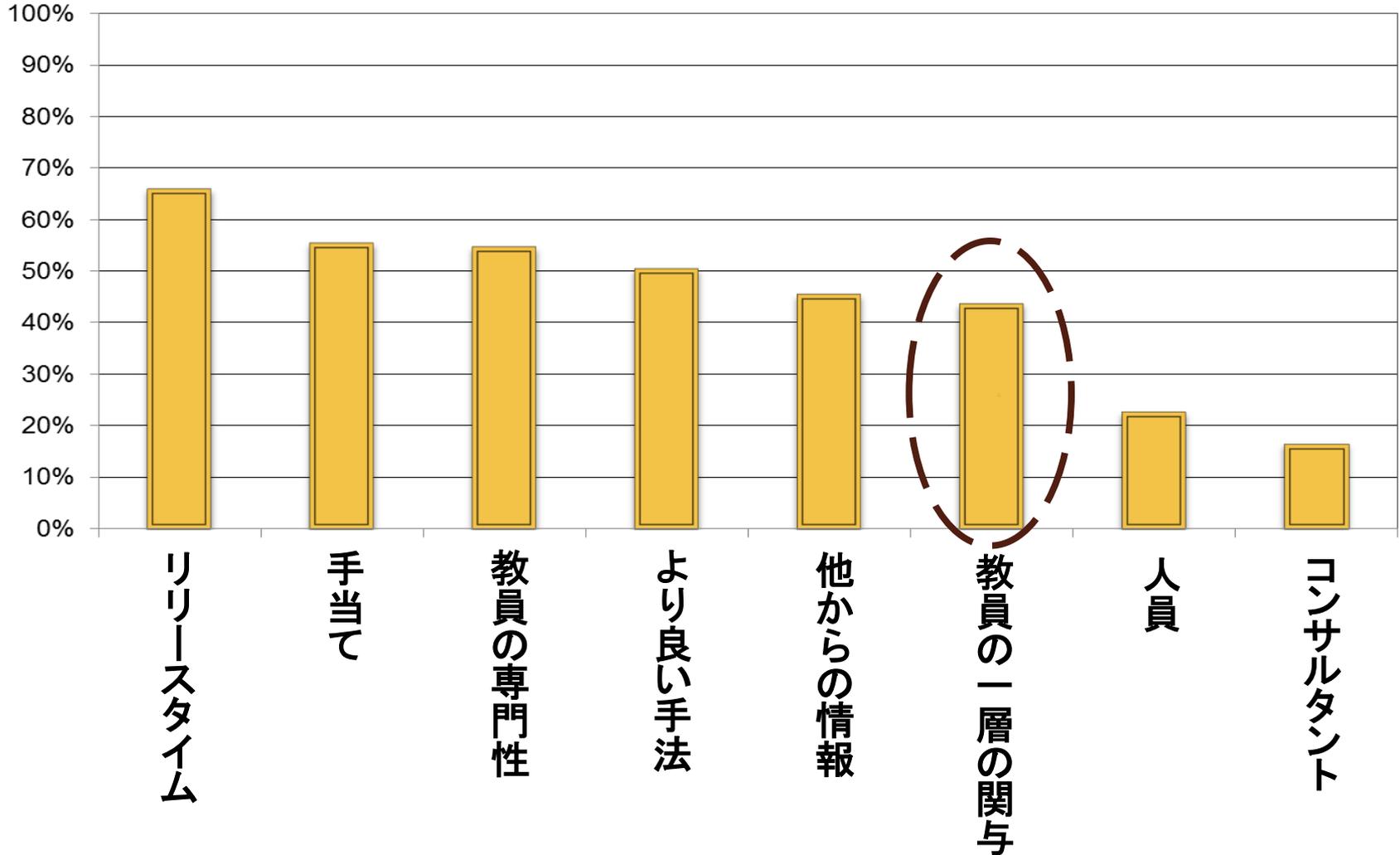
学問分野別の全体的な利用状況



プログラム・レベルの学習成果のアセスメントのために 投じられているリソースは少ない

- 15%フルタイム職員
- 54%パートタイム職員
 - 63%は終身在職権のある教員、15%は1コース相当のリリースタイム、加えて7%が1コース相当を超えるリリースタイムを得ている。
- 69%が年次アセスメント報告書を作成
- 60%がアセスメント委員会を設置
- アセスメントのための予算を確立しているのはわずか6%に過ぎない

何が効果的であるのか？

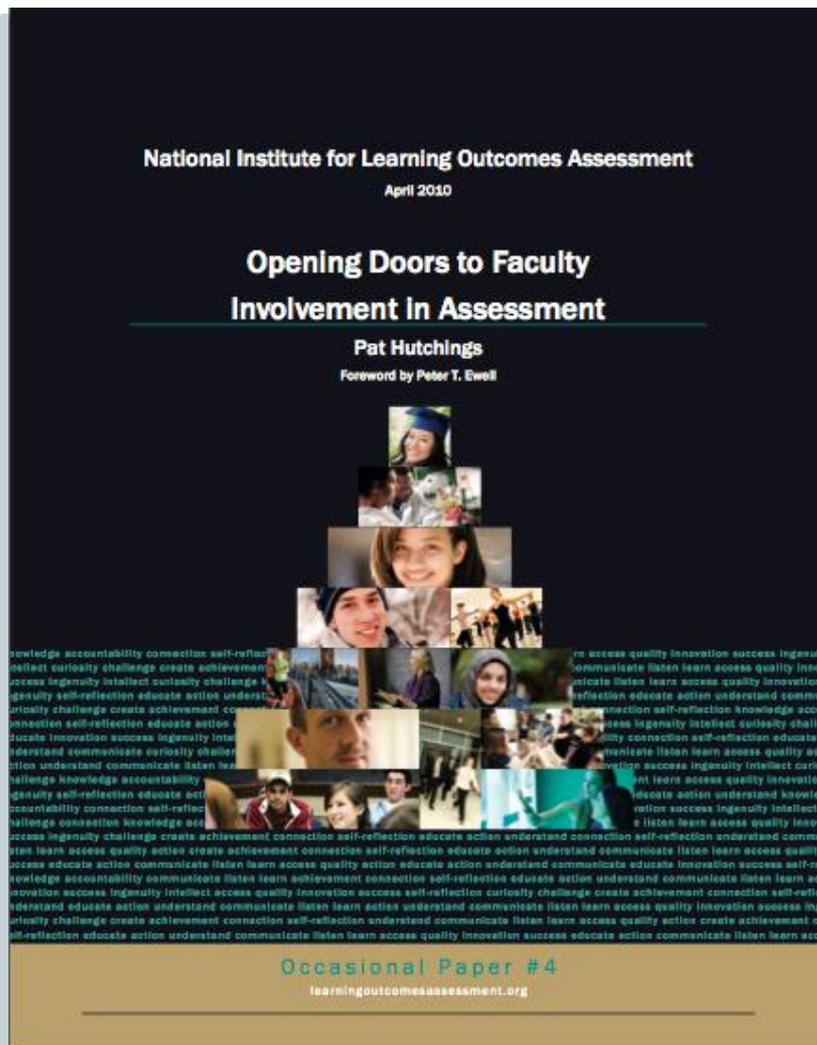


研究報告4

「アセスメントへ教員の参加・協力を得るためのドアを開けて」

Pat Hutchings

アセスメントのデータを学生の学習の改善のために効果的に利用するための秘訣は、この重要な活動に意味のある形で教員を関与させることである。この報告書では教員の参加・協力を得るための課題と機会について議論している。



❖ 主な調査結果

- ✓ プログラム・レベルでの行動
- ✓ 教務責任者の認識とプログラムの実態は異なる
- ✓ 専門分野別適格認定（アクレディテーション）は非常に重要である
- ✓ 学問領域間の相違はさらに重要である



グッド・アセスメント・プラクティスの例

- アセスメントの取組に焦点を当てる
- 外部に対するアカウンタビリティを改善に役立てる
- 幅広くコミュニケーションをとる
- プロセスおよび結果について省察する；意味を持たせる



- アセスメント委員会に権限を与える
- オープンに意見を交換する
- 小さな作業から段階を追って進める

オーガスタナ・カレッジ



- 可変性を認める
- 教員の関心を尊重する
- ファカルティ・ディベロップメント
- 適格認定(アクレディテーション)の利用
- 学習改善

カーネギー・メロン大学



- 教員の関心と調和させる
- アセスメントに意味を持たせ、管理しやすいものにする
- 初めから計画的に

セント・オラフ・カレッジ



- 定期的に意見交換を行う
- アセスメント活動のレビューを行う
- 大学幹部の協力
- 大学のレビュー・システムに組み込む
- ファカルティ・ディベロップメント

ラガーディア・ コミュニティ・カレッジ



学部・学科の学生の学習成果 に関する発展的アセスメント指標

44

教員はアプローチの開発および方策の特定に
力を入れている



複数の方策



より多くの教員が学生の成功および学習の指標
(成績向上率、困難なコース)を認識している



“ループの構築 (Closing the loop) ”、変化の証拠



結果を学生と共有する、結果の利用法を伝える



何が実現されたか？

- ✓ アセスメントは正当なものとして受け止められている
- ✓ 学習の目標が設定された
- ✓ アセスメントの「セミ・プロフェッション」
(専門職化)
- ✓ より良い手段と方法

なすべきことは何か？

- ✓ 教員のオーナーシップ
- ✓ 学習成果のアセスメントは、なお「付随的なもの」である
- ✓ 改善のための情報利用は、まだ発展途上にある
- ✓ 教育機関と評価者が学習成果のアセスメントに真摯に取り組む

National Institute for Learning Outcomes Assessment

Making Learning Outcomes Usable & Transparent

47

ご意見?
ご質問?
コメント?

www.learningoutcomesassessment.org



National Institute for Learning Outcomes Assessment

Making Learning Outcomes Usable & Transparent

48

Staci Provezis, Ph.D.
sprovez2@illinois.edu
www.learningoutcomesassessment.org

